

7 東中学校区

◆ 地区の学校：福村小学校、東小学校、和徳小学校（一部）、東中学校

＜児童生徒数の推計＞

平成 27 年 5 月 1 日現在(推計含む)

学校名	H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28		H29		H30		H31		H32		H33	
	C	児童数																						
福村小学校	14	420	15	430	16	432	17	442	17	438	17	431	17	438	16	419	15	407	14	383	15	400	14	395
東小学校	13	401	12	391	13	386	12	355	12	361	12	347	12	335	13	362	14	368	15	387	16	419	17	443
和徳小学校	12	311	12	283	12	290	11	291	11	278	10	257	9	260	10	268	10	266	9	248	10	260	11	271
東中学校	13	411	13	412	13	407	12	405	12	404	13	399	13	424	13	432	13	444	13	430	12	420	13	407

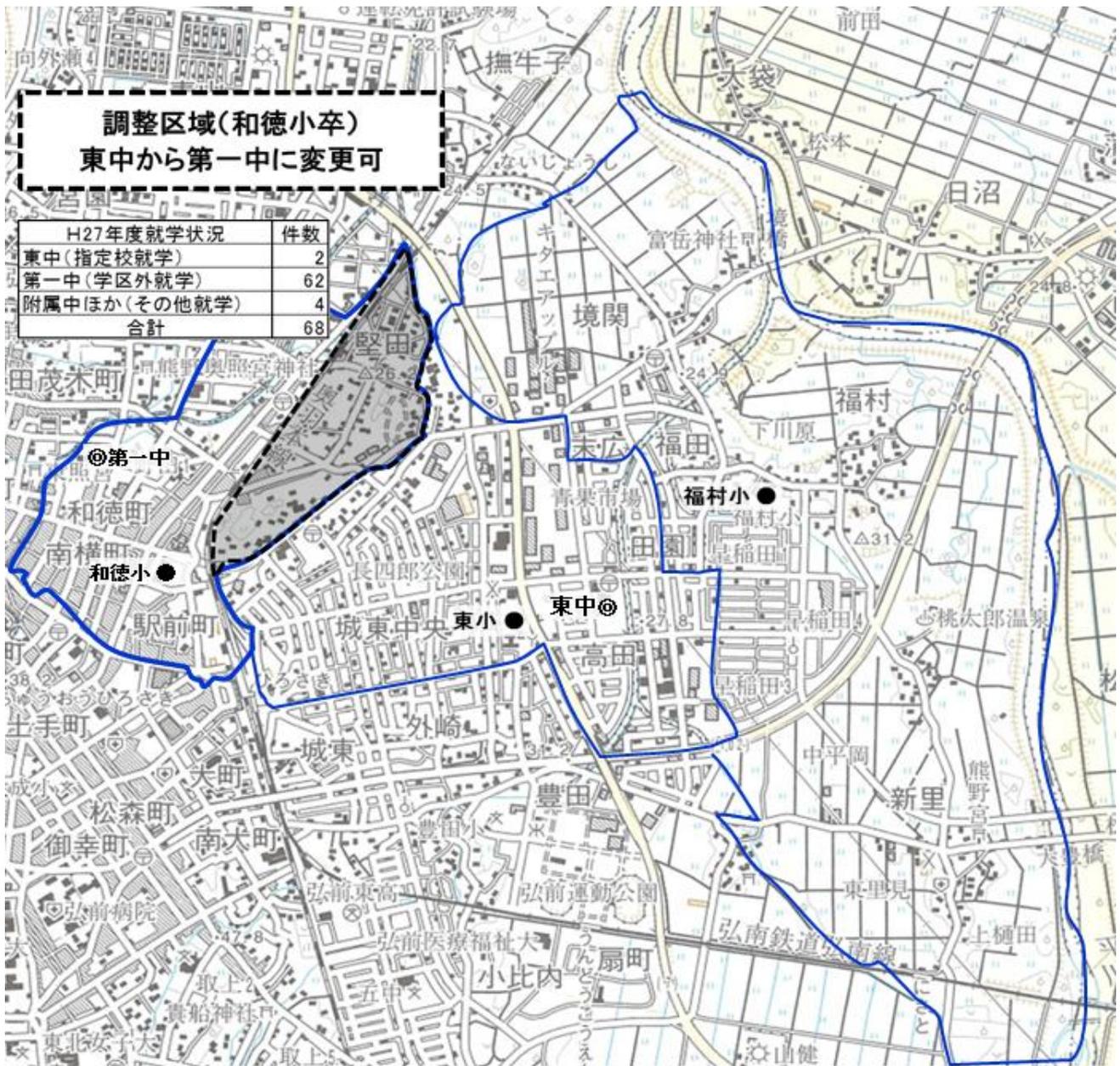
※Cはクラス数

◆ 東中学校区の検討課題と対応案

【短期】 和徳小学校区一部地域の通学区域の見直しについて

和徳小学校区では、ほとんどの地域が第一中学校区となっていますが、JR線沿いの一部地域については、進学先が東中学校（指定校）となっており、学区外就学許可基準により、第一中学校も選択できることとなっています。しかし実態は、指定校に進学する児童は少なく、学区外就学を申請し、ほとんどの児童が第一中学校へ進学しています。

今後、小中一貫教育システム構築を検討していくことを考えると、同じ小学校の児童は原則同じ中学校へ進学できるように配慮することが必要であると考えます。また、当該地域に住んでいる保護者の中には、第一中学校へみんな一緒に進学できるようにしてほしいなどの要望もあり、実態としても第一中学校へ進学している児童が多いことから、進学先を第一中学校とし、学区外就学許可基準により東中学校も選択できるようにするなど、通学区域の見直しを検討する必要があると考えます。



<学区外通学が認められている住所>

○東中学校区の一部(和徳小学校に通学している下記住所の児童は、卒業時に第一中学校も選択できる。)

- 堅田三丁目～五丁目、松ヶ枝一丁目の一部・二丁目・四丁目・五丁目、
- 俵元一丁目・二丁目、和泉一丁目の一部・二丁目の一部、高崎二丁目の一部

<小・中学校の区域>

学校名	区域（大字名）
福村小学校	新里（字西里見を除く。）、福村、福田、境関、福田一丁目、福田二丁目、境関一丁目、福田三丁目、福村一丁目、早稲田一丁目、早稲田二丁目、早稲田三丁目、早稲田四丁目、未広五丁目、田園四丁目、田園五丁目
東小学校	高崎、松ヶ枝一丁目の一部、松ヶ枝三丁目、和泉一丁目の一部、和泉二丁目の一部、高崎一丁目、高崎二丁目の一部、城東中央一丁目、城東中央二丁目、城東中央三丁目、城東中央四丁目、城東中央五丁目、稲田一丁目、稲田二丁目、城東北一丁目、城東北二丁目、城東北三丁目、城東北四丁目、高田二丁目、高田三丁目、高田四丁目、未広一丁目、未広二丁目、未広三丁目、未広四丁目、田園一丁目、田園二丁目、田園三丁目
東中学校	福村小学校、和徳小学校（大字堅田三丁目、堅田四丁目、堅田五丁目、松ヶ枝一丁目の一部、松ヶ枝二丁目、松ヶ枝四丁目、松ヶ枝五丁目、俵元一丁目、俵元二丁目、和泉一丁目の一部、和泉二丁目の一部、高崎二丁目の一部の区域に限る。）、東小学校の学区と同じ

